

地域リハビリテーション総合支援センター(仮称)の整備について

1. 趣 旨

本県の地域リハビリテーション機能の強化を図るため、国の地域医療再生臨時特例交付金を活用し、県内全域の地域リハビリテーションを推進する拠点施設を整備するもの。

2. 整備の概要

(1) 事業概要

現在、整備を進めている新たな総合リハビリテーション病院等の開院後、現病院の建物を活用し、新病院と一体となって、入退院支援から地域連携、在宅サービスなど退院後の在宅生活をリハビリテーションの立場から支援する「**地域リハビリテーション総合支援センター(仮称)**」を整備する。

(2) 事業内容 (主な機能)

◇在宅生活相談センター	地域連携、ケアマネジメント、障害児地域生活支援、医療・介護機器展示、住宅改修相談、高次脳機能障害・発達障害支援等
◇訪問看護ステーション	訪問看護・訪問リハビリテーション
◇通所リハビリセンター	通所リハビリテーション
◇研修センター	医療・介護人材等の育成
◇リハビリ研究センター	ロボットリハ、リハビリ手法、介護機器等の研究・検証

(3) 富山県地域医療再生計画における事業計画額

5. 2億円〈基金2.6億円、県2.6億円〉
(現病院改修費、訓練機器、駐車場工事等)

3. これまでの経過及び今後のスケジュール (予定)

H25年 5月 ○本整備事業を含む富山県地域医療再生計画を国に提出

7月 ○地域医療再生臨時特例交付金に係る国の内示

9月 ○9月補正予算(現病院改修設計費)

H25年10月～ ○現リハビリ病院改修に係る設計業務

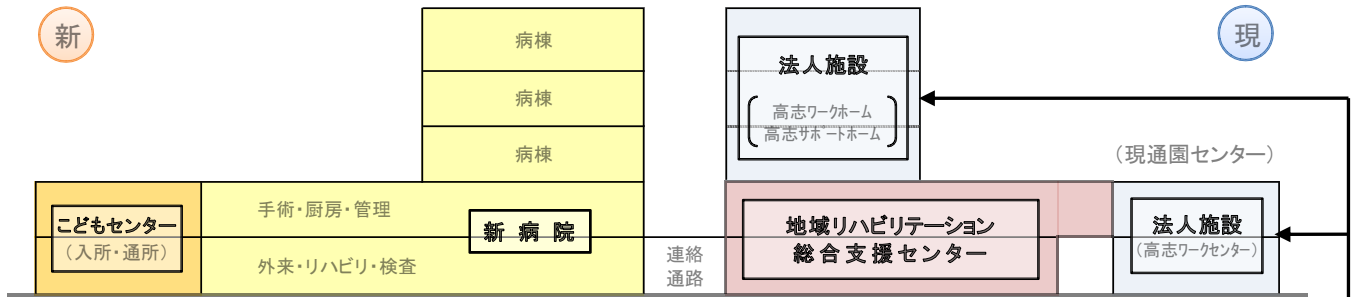
H26年1月～
H27年6月 □新病院本体工事 → 新病院開院(H27年10月)

H27年10月～ ○現リハビリ病院改修工事 → 改修工事完了部分から順次事業開始

H28年10月 □全面オープン(外構、駐車場整備も含めた全体事業完了)

新病院・こどもセンターイメージ

現リハビリ病院活用イメージ



新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センター(仮称)整備

高志リハビリ病院、高志学園、高志通園センターを再編し、新たに整備を行うもの

○整備方針

- ・高度専門的なリハビリ医療の提供
- ・重症児等への対応強化
- ・児童精神科医療の充実、多様な障害への対応
- ・病室や訓練スペースの拡充 等

○建物概要

構造：鉄筋コンクリート造 地上5階
 延床面積：18,500㎡ (バルコニー、渡り廊下等除く)
 病床数：202床 (病院：150床、こども：52床)

○整備費

約74億円

地域医療再生交付金活用 (H22年補正分)

※医療機器、既存施設解体、外構・駐車場整備は含まない

現病院の改修 <<基本計画>>

○現病院等施設の有効活用

【3～5階】法人*施設(移転)

※(福)富山県社会福祉総合センター

【1階・2階】地域支援部門(各支援センター)

研修部門(研修室、会議室)

研究部門(福祉機器展示等)

○地域リハビリテーションの推進

- ・入院から退院、在宅への移行支援
- ・良質な訪問リハビリテーションの提供
- ・幼児期から成人期に至る支援窓口の集約

富山県地域医療再生計画 申請 (H24年度補正分)

2.6億円

<<現3施設における地域支援事業等>>

高志リハビリ病院	◇地域医療福祉連携/相談・支援
	◇訪問看護
高志通園センター	◇訪問リハビリテーション
	◇研究開発(福祉機器の開発、技術支援等)
	◇富山県リハビリテーション支援センター
	◇富山県高次脳機能障害支援センター
高志学園	◇障害児地域生活支援
	・障害児相談支援
	・保育所等訪問支援事業
高志通園センター	◇富山県発達障害者支援センター
	◇入所児の地域移行支援
高志学園	◇短期入所・日中一時支援

地域リハビリテーション総合支援センター

- ◆在宅生活相談センター
- ◆訪問看護・訪問リハビリテーション
- ◆通所リハビリテーションセンター
- ◆研修センター
- ◆リハビリ研究センター

